

令和3年度 2年 音楽科 年間指導計画・評価計画

1. 目指す生徒像

学年末の到達目標「表現及び鑑賞の幅広い活動を度押しして、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する」

『知識・技能』…曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技術を身に付けるようにする。

『思考・判断・表現』…曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

『主体的に学習に取り組む態度』…主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

2. 評価方法

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 授業プリント 演奏 授業観察 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 授業プリント 実技テスト 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 授業プリント

3. 年間指導計画・評価規準

月	単元	時数	学習活動	①	②	③	評価規準（おおむね満足できる B）
4 5 6 7	曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう。	3	校歌、2部合唱の合唱に取り組むことを通して、歌唱表現の創意工夫をし、響きの豊かな歌声を目指す。	○			<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で楽曲を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい歌唱表現をどのように表すかについて思いや意図をもっている。 楽曲の曲想と音楽の構造や歌詞の内容と関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	曲想を生かして表情豊かに歌おう。	2	楽曲の雰囲気や旋律の動き、強弱などを生かしながら曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表現している。 音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう。	2	曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞する。	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 楽曲の構成と曲想の変化に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	曲想を感じ取って、表情豊かに演奏しよう。	2	楽曲の曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、器楽表現を創意工夫して行	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で楽曲を演奏するために

	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。	2	語感を大切にしながら、歌の理解しながら、歌唱表現を創意工夫することができる。	○	○	必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 ○ 旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ○ 曲想を感じ取って奏法を工夫することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 ○ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。 ○ 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図を持っている。 ○ 歌詞の表す情景や心情及び曲の雰囲気や味わいに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
9 10 11 12	パートの役割を理解して響きのある声で合唱しよう。	4	曲想と歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに着目し、合唱の表現の工夫をする。	○	○	○ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○ 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 ○ リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 ○ 曲想と歌詞の内容の関わりや、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ○ 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 ○ 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能、創意工夫を生かした、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 ○ 音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 ○ 楽器の特徴や基礎的な奏法に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 ○ 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。
	日本の伝統音楽の特徴を考える。	4	日本の伝統的な楽器の演奏方法を知り、和楽器特有の音色を味わう。また、実際に演奏することで日本の伝統音楽の特徴やよさについて考える。	○	○	○ 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能、創意工夫を生かした、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 ○ 音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 ○ 楽器の特徴や基礎的な奏法に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	旋律が重なり合っていくおもしろさを味わおう。	2	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞する。	○	○	○ 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ○ 音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ○ 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	言葉の抑揚を生かして創作表現を工夫しよう。	3	音階や言葉などの特徴や音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	○	○	○ 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について表したいイメージと関わらせて理解する。 ○ 創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表している。 ○ リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、まとまりのある創作表現

					○	<p>としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉に基づいてイメージと関わらせて旋律を作ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
1 2 3	歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう。	3	歌舞伎について知り、それに用いられている長唄を実際に歌う体験を通して長唄の音楽的な特徴を感じ取るとともに、伝統芸能としての歌舞伎を味わう。	○ ○ ○		<ul style="list-style-type: none"> ・長唄の声の音色や響き、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・歌舞伎の特徴と音楽の構造の関わりについて理解している。 ・長唄の声の音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。
	オペラに親しみ、その音楽を味わおう。	2	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞する。	○ ○		<ul style="list-style-type: none"> ・長唄の声の音色や旋律の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう。	4	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	○ ○ ○		<ul style="list-style-type: none"> ・音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・曲想と音楽の構造との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。
	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう。	2	曲想と音楽の構造や歌詞の内容、背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	○ ○ ○		<ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 ・歌詞の内容や曲想に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ・速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。
					○	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の表す情景や心情、曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。